



平成 20 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名	日本冶金工業株式会社
代 表 者	代表取締役社長 杉森 一太
上場取引所	東証一部
コード番号	5 4 8 0
問い合わせ先	取締役企画室長 大塚 直 (TEL 03-3273-3612)

当社連結子会社ナストア株式会社の JIS 認証取消による
連結業績への影響と再発防止に向けた一連の対応等について

本年 6 月、当社連結子会社ナストア(株)茅ヶ崎製造所にて製造したステンレス溶接鋼管の一部に耐圧試験等の未実施が判明し、JIS 認証が取消されました。本件に関する再発防止に向けたグループ品質保証体制の強化策、ナストア(株)の経営基盤強化に向けた施策等の一連の対応策及び当社連結業績への影響が下記の通りまとまりましたのでお知らせいたします。

記

1. グループ品質保証体制の強化策

当社グループでは、本件の反省の上に立ち、グループ各社におけるコンプライアンス意識の徹底に努めるとともに、お客様に満足いただける品質保証体制の確立に向けての体制作り着手してまいりました。当社技術管掌役員を委員長とする『NAS グループ品質保証委員会』を発足させ、(社)日本鉄鋼連盟のガイドラインに沿ってグループの品質保証体制を検証し、体制の強化に努めております。

また、ナストア(株)におきましても、本件を受け直ちに社内プロジェクトを立ち上げ、JIS 認証の再取得に向けて全社を挙げて取り組んでおります。可能なかぎり早期の JIS 認証の再取得を目指してまいります。

2. ナストア(株)の経営基盤強化策

同社は、今後上記の品質保証体制の強化に徹底的に取り組む他、得意分野に経営資源を集中する事業構造改革と大幅なコスト削減を柱とする抜本的経営基盤強化策を策定いたしました。ステンレス事業の安定的収益基盤を構築することにより従来以上に存在感のあるステンレス溶接鋼管メーカーとして再生を図ります。

当社としては、生産販売をはじめとする事業面はもとより資金・財政面からを含め全面的に

支援してゆく所存であります。

3. 当社連結業績に及ぼす影響

本件により平成 20 年度第 2 四半期決算にナストーア(株)において発生した棚卸資産評価損として特別損失約 5 億円を計上いたします。

なお、本件に関し、当社並びにナストーア(株)の関係者の内、当社会長（本年 6 月まで当社社長）および専務取締役（関係会社統括部門管掌）を減俸、ナストーア(株)前社長、前専務取締役（いずれも本年 6 月退任）を打ち切り退職慰労金の一部返上、同社取締役茅ヶ崎製造所長の更迭並びに減俸、の処分を実施致しましたので、併せてお知らせいたします。

今回の JIS 認証取消に関し、関係各位には多大なご迷惑とご心配をお掛けしましたことを重ねてお詫び申し上げます。

以 上